

萩尾溜池公園バイオトイレ導入業務委託 提案書評価基準

1 概要

提案者の提案書に対して次に定め基準に従った方法により評価する。

2 評価方法

(1) 評価者

「萩尾溜池公園バイオトイレ導入業務委託に係る公募型プロポーザル評価委員会」（以下「評価委員会」という。）を設置し、各委員が各提案についてそれぞれ評価を行う。

(2) 提案書

提案者からの提案内容を、プレゼンテーションを通じそれぞれ次の基準により評価する。

提案書の評価は、提案者から提出された提案書をもとに、プレゼンテーションを通じて評価を行うこととする。提案書の採点方法は、プロポーザル実施要項に記載のⅤ提案書について、提案書の構成それぞれに割り当てられた配点に評価採点表の重点係数を乗じて採点結果とする。

□評価基準（評価項目 1～3、5）

- ・参加者の絶対評価により評価を行う。

項目の評価	評価点
特に優れており、極めて満足できる	5
十分に考慮され、優れている	4
考慮されており、ほぼ満足できる	3
考慮されているが、不足がある	2
ほとんど考慮されておらず、極めて不足である	1
全く考慮されておらず、記載がない	0

□評価基準（評価項目 4）

- ・提案者の見積額について、次の考え方に基づいて得点化を行う。

提案者中の、見積額が最低となった提案に対し、5点を評価点とする。

他の提案者については、次の数式で算出した点数を評価点とする。

見積額を税抜きで算定し、小数点以下切り捨てて得た点数を評価点とする。

【提案価格評価点の計算式】

$$\text{評価点} = \text{配点 5} \times \frac{\text{最低の見積額}}{\text{見積額}}$$

3 評価項目の設定

次のとおり、評価項目を設定する。

評価項目	評価事項	評価基準
1. 内容	(1) 目的	・本業務の目的を理解した上で実効性のある提案か
	(2) 撤去	・本業務を理解した適切な撤去方法が提案されているか
	(3) バイオトイレの性能	・自己完結型トイレの説明は十分理解できたか ・適切な処理方式及び処理能力の提案か ・仕様書の目安部屋数に出来る限り沿った内容か
	(4) 設置	・本業務を理解した適切な設置方法が提案されているか ・立地特性や条件を考慮しているか
2. 実施方針	本業務の業務内容について、実施にあたっての考え方、取り組み方法など、具体的な実施方針	・業務の取り組み方法などが適切で、スケジュールは実現可能か
3. 実績	(1) 業務実施体制	・本業務に関する十分な知見・ノウハウを有している担当者が配置されているか ・再委託を行う場合、宇城市内業者への活用が図られているか
	(2) 業務実績	・公民問わず類似業務の実績とその内容は、本業務を実施するに当たり十分であるか
4. 見積額	(導入業務費用) $\text{評価} = \text{最低見積書金額} / \text{見積書金額} \times 5$ ※評価点数は、税抜きで算定し、小数点以下切り捨てとする。	
	(保守業務費用) ・効率的な維持管理方法であるか ・市の財政負担が少なくなるような提案か	
5. 説得力	・説明に説得力があるか、論理的か ・質問に対する回答が適切か	

4 受託候補者の選定

この選定評価基準に基づく評価の結果、基準点を満たす者の中から総合評価点が最も

高い1者を本業務の契約を締結する候補となる事業者として選定する。

評価点は満点を100点とし、最大及び最低点を除いた各委員の評価項目の合計を評価委員数で除し、小数点第2位以下を四捨五入した点数を提案者ごとに算出する。

ただし、本プロポーザルの審査における最低基準点は60点とし、算出した評価点がこれを下回る者は受託候補者とはなれない。

また、最高点の者が複数いる場合は、提案金額の安価な者を受託候補者として選定する。なお、評価点が同点で提案金額が同額である者が複数いる場合は、評価委員会委員長の最高点の者を受託候補者として選定する。

5 提案者が1者又は参加申込みがない場合の取扱い

提案者が1者のみの場合であっても評価は実施し、評価の結果において基準点を満たすときは当該参加者を受託候補者とする。また、基準点に満たない場合、又は提案者の参加が無い場合は再度検討する。

なお、基準点は60点とし、総合評価点を委員の数で除して算出した値と比較する。